



平成29年度 中央区地域活性化事業交付金 交付決定事業 【星が丘地区】

平成30年3月31日現在

No.	団体名	事業等の名称	事業の概要			交付決定 年月日	事業予算(単位:円)		
			事業の背景	事業の目的	事業の内容		全体額	申請額	交付金額
1	すずかけオレンジカフェ	高齢者生きがいづくり事業	<ul style="list-style-type: none"> ●認知症の方が地域に増えているが、正しく認知症を理解されている人が少ない。 ●介護保険サービスを受けていない人については、専門家や専門機関に相談する機会があまりない。 ●認知症の方やその家族が地域から孤立してしまうことが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ●認知症の人やその家族、地域住民、介護や福祉などの専門家などが気軽に集い、情報交換や相談、認知症の予防や症状の改善を旨とした活動などのできる場所を作る。 ●地域の方に認知症について正しい認識をしてもらう。 ●誰でも気軽に来れる心地よい場所を作り、認知症の方やその家族が地域とつながれる場所を作る。 ●本事業を通じて、地域住民、地区内介護保険事業者、地区社会福祉協議会、地区自治会連合会、地区民生委員児童委員協議会、高齢者支援センターにて定期的に話し合いを実施し、地域の中で認知症の方に対して共通の認識を深め、話し合いを行うきっかけとする。 ●本事業を通じて認知症サポーターを地域の中で増やしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ●月に1回、星が丘公民館を会場としてすずかけオレンジカフェを継続的に実施する。(毎月第4火曜日10:00~12:00) ・介護や福祉の専門家による個別相談 ・医師による座談会 ・認知症当事者と家族による講和 ・カフェに来た人が和めるコンサート等 ●認知症サポーター養成講座の実施 ●住民に向けた認知症講座の実施 ●先進的な取り組みをしている認知症カフェへの視察研修(参加者は公募する) 	H29.5.23	315,000	290,000	290,000
2	千代田ナイトフェスタ実行委員会	千代田ナイトフェスタ	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会加入率が年々減少しているなか、地域を活性化させるため、地域の連帯感を高める必要がある。 ・地域活動の担い手の高齢化が進んでいるため、若者世代の参加を促進する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・千代田地域合同のイベントを開催することで、地域の連帯感を醸成し、活性化に寄与する。 ・若者世代など、イベントへの参加者を増やすことにより、地域住民の自治会活動への理解を深め、地域おこしをする。 ・自治会未加入者にも参加してもらうことで、自治会とつながりをつくり、加入促進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・千代田2丁目から千代田7丁目までの6自治会合同で千代田ナイトフェスタを開催する。 <日時>平成29年7月29日(土)午後6時から午後8時30分まで <場所>千代田保育園前の横断歩道から久米文具店傍の信号までの道路 <内容>地域で活動している団体などに協力を仰ぎ、活動成果の発表をすることにより、日頃から地域で生活する住民が触れ合う機会を提供し、活性化につなげる。 鼓笛隊演奏、よさこい、お囃子、御輿等 ・フェスタのポスター(400部)、チラシ(1,200部)の作成 	H29.7.3	400,000	400,000	400,000
3	元気な毎日応援委員会	高齢者元気な毎日応援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度から地域ケア会議で高齢者の見守りの必要性について議論してきており、「やさしさいっぱい星が丘」を実現し、高齢者にやさしい町として地域の魅力アップをしたい ・地域や隣近所との関わりの薄いひとり暮らし高齢者や高齢者世帯が増えており、急な体調不良などの変化の際に発見が遅れることがある ・見守りや支援の必要性について、ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯、その家族の理解が乏しい状況がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯が体調不良などの変化に早期に気がついてもらえるようにする ・ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯、その家族の安否確認に対する意識の変容を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の安否確認の必要性を記載した冊子を作成し、70歳以上のひとり暮らし高齢者や高齢者世帯、その家族に配布する(1,000部) ※800部は対象者に配布、200部は希望者等に配布 ※冊子には平成27年度に作成された認知症についての漫画も掲載する ・見守りに関するポスターを作成し、地域の掲示板や施設等に掲示してもらう(100部) 	H29.7.27	421,200	421,000	421,000

No.	団体名	事業等の名称	事業の概要			交付決定 年月日	事業予算(単位:円)		
			事業の背景	事業の目的	事業の内容		全体額	申請額	交付金額
4	星が丘地区ふれあいフェスティバル実行委員会	星が丘地区ふれあいフェスティバル	過去実施したフェスティバルを通じて、地域内における団体間の交流が深まり、団体の活動も地域に認知されてきているが、まだ十分ではない。近年の来場者数は4,000人程であり、地域のイベントとして定着してきており、継続することでさらなる活性化につながるものと思われる。	地域の団体が協力して大きなイベントを開催することで絆をさらに深め、来場者に団体の活動をPRすることで加入促進し、地域の活性化につなげる。	地域で活動している諸団体が協力し、星が丘地区ふれあいフェスティバルを開催する。 <日時> 平成29年10月22日(日) 午前10時から午後3時まで <会場> 星が丘小学校校庭 <内容> ・各種団体による活動紹介 ・各種団体の加入促進 ・各種団体による模擬店 ・ステージイベントの実施(地域内の小学校・保育園、活動団体等) ・アトラクションの実施(抽選会、じゃんけん大会、スタンプラリー、紙飛行機教室、工作教室等)	H29.10.11	900,000	450,000	450,000
5	子どもの地域活動への参加を進める会	中学生以上の子どもの地域活動参加促進事業	・中学生以上の子どもは地域活動へほとんど参加していない。 ・若い世代の地域における公共的な活動の担い手が不足している。 ・学校や部活動、家庭以外での中学生の居場所が少ない。	・子どもの頃から継続的に地域活動に参加し地域に親しむことで、次世代の担い手に成長してもらおう。 ・役割を与え地域に貢献しているという意識を持たせることで、学校や家庭以外の中学生の居場所をつくる。	①地域のイベントでフェイスペイントの模擬店を出店し、活動のPRと事業への参加者を募る。 <参加イベント> ・10月1日(日)のふるさとまつり・町民運動会 ・10月22日(日)の星が丘地区ふれあいフェスティバル ・3月3日(土)、4日(日)の公民館まつり ②12月に公民館で子どもたちが主体となったクリスマスイルミネーションを実施する。 <実施期間> 12月2日(土)~24日(日) 17時~22時	H29.10.6	210,000	210,000	210,000
6	星が丘地区の古い写真等を保存し活用を進める会	星が丘地区の歴史資料を作り活用を進める事業	公民館報は昭和48年より発行されており、地域唯一の情報紙であった。地域の様々な情報が載っており、地域の歴史や当時の人々の思いを知ることができる。しかし今は人の目に触れることもなく眠ってしまっている。そのような情報をまとめ冊子にし、地域で活用できるようにする必要がある。	古くからの公民館報等に載せられている星が丘地域の歴史やまちづくりにかける人々の思いを改めて知ることにより、星が丘地域の歴史をたどる一資料とするとともに、まちづくりを一層進めようとする新たな思いを持つことにつなげる。	・「星が丘公民館報等でたどる地域の歴史と人々の思い」という冊子を作成する。(152ページ、600冊) ・各自治会や学校等に配布し、様々な活動に役立ててもらおう。 ・公民館まつりで発表を行う。 <日時> 平成30年3月3日(土) 午後3時~午後4時 <会場> 星が丘公民館 大会議室	H30.2.20	550,000	550,000	550,000
7	地域の高齢者の生活を考える会	緊急時安心サポート事業	・高齢化の進行 ・高齢者は「急病による救急対応」や「道に迷うなどで保護される」などの機会が他の年代よりも多い ・上記の際に個人の特定、医療情報、日ごろの状況が分からないために適切な対応を受けられないことがある	・高齢者が急病による救急対応や道に迷う等で保護された際に、適切な対応を受けられるよう支援する ・高齢者が住み慣れた地域でできる限り生活を続けることができるよう支援する	・救急カードを作成し、老人会やサロン、高齢者支援センターや民生委員による訪問時等に高齢者に配布する。 (800部)	H30.2.26	130,000	130,000	130,000
8	中央区自治連自転車対策会議 (※8地区合同事業)	自転車事故撲滅のための交通安全啓発事業	中央区は、数年に渡って自転車事故多発地域及び高齢者事故多発地域に指定されるなど、交通事故が非常に多い地域である。今年においても昨年を上回るペースで事故が発生しており、早急な対策が必要な状況である。各地区や各団体において、1件でも多く事故を減らすために取り組んでいるところではあるが、活動の範囲は地区内に限定され、広域的な活動はあまりされてこなかった。そこで、この自転車事故対策問題を中央区全体の課題と捉え、広域的な活動を開始することとなった。	中央区全体で自転車利用者に対して標柱幕による交通安全啓発活動に取り組むことにより、自転車事故を撲滅する。	・事故が発生しやすい交差点等に「自転車も止まれ！」の標柱幕を掲出することにより、自転車利用者への啓発活動を行い、自転車事故撲滅につなげる。 ・標柱幕を設置することにより各地区における交通安全の機運を高め、啓発活動を実施する。	H30.1.29	2,387,000	2,387,000	2,387,000
						うち星が丘地区分	うち星が丘地区分	うち星が丘地区分	310,000
							3,236,200	2,761,000	2,761,000